

報告書名：8020 支援情報ネットワークシステムの開発に関する研究

- 支援ネットワークシステムの詳細設計と事前評価 -

研究者名：山本勝¹⁾，永井昌寛²⁾，横山淳一¹⁾

所 属：¹⁾名古屋工業大学大学院社会工学専攻，²⁾愛知県立大学情報科学部

「8020 運動」および「健康日本 21」歯科保健分野を効率的かつ効果的に支援していくためには，IT 導入による住民への情報サービスの充実が有効かつ不可欠であると考えられる。そこで，本研究では，「8020 運動」および「健康日本 21」歯科保健分野を情報面から支援するための 8020 支援情報(ネットワーク)システムの開発とその評価実験を行った。また，これらの結果をもとに開発・運用上の課題・問題点を明確にした。さらに，本システムならびに関連情報に関する意見交換および情報収集を行い，よりよいシステムの開発に向けて改良を継続的に行っている。

8020 支援情報システムの開発

本システムの最終目的を「生涯を通じた住民の歯の健康づくりの支援」として，開発の方針を 1) 歯と口に関する情報および歯科診療所の情報の提供，2) 8020 達成目標の設定と達成率の表示，3) 歯科相談・アドバイス・歯に関する自己診断，4) 住民による歯科診療所の評価，5) コミュニケーション支援，6) 統計情報の取得，7) 使いやすいインターフェースとした。本システムは，Web データベースサーバで，歯科医師あるいは住民がインターネットを通じて，様々な情報サービスを利用できる。住民は歯科診療所を訪れることにより，自分の歯の情報が更新され，コンピュータを用いてその情報やさらに様々な歯科情報サービスを閲覧することが可能となる。これにより，達成目標に向けて歯の健康づくりを支援していく。本システムの主な特徴は 1) 歯に関する専門的なアドバイスが受けられる，2) 健康日本 21 (8020 運動) の達成度チェックができる，3) 自分の歯の状態チェックがいつでもできる，4) 歯科診療所の検索ができる，5) 歯科診療所の評価結果が得られる等があげられる。

システムの評価実験

本システムの運用に向けて，システムにおける課題・問題点を明確にし，システム改良を進めるために，2 回のシステムの評価実験を行った。評価実験は，1 回目はシステム全般にかかわる意見を収集する目的で，2 回目はシステムの改良に向けて具体的な問題点を見つけることを目的とした。システムの評価者は主に愛知県歯科医師会の歯科医師で，歯科医師と住民の両方の立場で評価をしてもらった。その結果，各ページの必要性については比較的に高い評価を得た。しかしながら，システムの総合評価においては，良いこととは思っているものの，導入に慎重な歯科医師が多いことがわかった。

システムの運用・開発における課題・問題点

8020・IT 化委員会で議論になった内容，評価実験の結果，歯科医師のヒアリング調査等から，システムの運用・開発上の問題点・課題として，とくに 1) 歯科医師負担の問題，2) 歯科医師の診療結果の違い，3) 歯科医師の価値観の違い，4) 歯科医師のシステムの理解，5) システム開発上の問題の 5 つがあげられる。